東北ダンプ

【発行】全日本建設交運一般労働組合（略称・建交労）東北ダンプ支部
〒963-8025 郡山市桑野2-3-2
建交労福島ダンプ内
2026年1月1日発行　NO.43　TEL024-933-4511　fax024-921-1868
Email：fukusimadanpu@mtj.biglobe.ne.jp

組合の仲間の皆さんへ

～ナンバー問題は組合専従に任せて安心

「白ナンバーでは仕事が出来ない？」との混乱は、トラック新法の成立によって、にわかに出てきた問題です。結論から言うと、組合に結集する大半の仲間は心配することはありません。もし、自分がナンバー問題に直面したら、組合専従に任せて下さい。ただし、運送業者の下で自家用ダンプが稼働するケースは単純には行きません。

ある県のトラック協会協が県建設部に要請をして、建設部長名の通達が建設業界に出ました。組合は直ちに県庁を訪ねて、当該通達の撤回と建交労との協議の場を設ける申し入れを行ないました。新年早々にも、県建設部と建交労との話し合いが持たれる予定です。

この様なことが起きる背景には様々な事情があります。今回の場合は、トラック新法の成立を聞きつけた県会議員が積極的に県当局に働きかけて、その勢いに押されて通達が出されたものと思います。来年から再来年の春にかけて、統一地方選挙が予定されますが、運送業界のお先棒を担いで実績を作り、自分の選挙に結びつけようとの魂胆です。

組合としてはこの問題を受けて、全ト協の最高幹部から事情を聞きました。「全ト協から各県のトラ協に対して、白ナンバーダンプの排除を求める要請を行なえなどの指示は一切出していない。建交労が組織する様な合法的ダンプの存在はよく知っている。トラック新法の目的はダンプを念頭に置いたものではなく、一般貨物運転手の待遇改善などだ」との説明がありました。ただ、全ト協ダンプトラック部会の中には、タクシーライドシェアのダンプ版を狙っている勢力もあります。

組合専従は過去の資料もよく読み込んで対処する必要があります。必要な知識を持たないで、「自分はこう判断する」と安易に楽観論を振りまいても、当面する問題は解決できません。私もこの間、膨大な資料を読みました。そうすると、そこここに、白ナンバーダンプでも安心して働ける根拠があることを知りました。

30年間の記憶は結構あいまいです。

2007年3月に、当時の吉川春子参院議員（共産党）が、冬柴国交大臣に質問した議事録があります。冬柴大臣は「一人親方で自ら営業をやっている訳ですから、何を管理するんですか。運輸業ならば我々の所管になりますけれども、自家用の車で自ら営業される、それまで我々は禁止できない訳です」「道路運送業を所管し、監督をさせて頂いていますが、1台持って白で営業している方、そこまで我々が所管して指導する発想はありません」と答えています。

吉川議員は「ダンプの皆さんの苦労が分かりました。今日の質問では不安もありましたが、終了後に他党の議員も拍手をしてくれました」と述べています。自家用ダンプの実態は、政府も国会もよく知っているのです。建設残土は他人の荷物なのか？工事の一環として捨て場に「運搬」しているのです。　（M）

組合員のみなさん
新年あけましておめでとうございます

建交労東北ダンプ支部
執行委員長　渕柳勝彦

執行部を代表しまして、年頭のあいさつを申し上げます。

昨今のダンプの情勢ですが、各地でナンバー問題が持ち上がっています。昨年6月に国会で通ったトラック新法（貨物自動車運送事業法の一部改正）の成立に伴い、今年の4月1日から施行されますが、白ナンバー（自家用）＝違法ということが全国を駆け巡っています。

我々は、正しい認識をする必要があります。そもそも、トラック新法は、2024年問題（残業時間規制）に端を発し、運転手の賃金の適正化が目的であり、また水屋対策として2次下請以降の規制だったり、違法な白ナンバーにより運賃が下がらないような対策を目的としたものです。ダンプに的を絞った政策ではありません。しかし、一部の輩（やから）が法案（営業許可のないものを使った場合の荷主への罰則強化）を利用し、混乱を持ち込んでいます。

歴史的な流れをみても、貨物自動車運送事業法では、ダンプは対象とならず管理できないから、昭和42年に議員立法によるダンプ規制法（土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法）が制定されています。

全国19万台の62%は、自家用ダンプであり、ダンプを始めるときに国土交通省へダンプの使用届を提出し許可を経て、背番号をもらいます。また、貨物自動車運送事業法を所管している国土交通省東北運輸局は、「ダンプに関しては、ケースバイケース、就労する実態で判断する。白ナンバー＝違法という判断はしていない」と回答しています。

政府は、たしかにダンプの協業化を目指してはいますが、その最大の課題となっているのが単価問題です。ダンプに適正な単価が支払わなければ協業化（事業化）できるわけはありません。全国ダンプ部会としても、国土交通省本省とも話し合いをかさね、特に主要な合材関係の本社交渉を行い、間違えた解釈を出している全日本アスファルト合材協会に対して抗議、交渉をし、適法な自家用ダンプの主張をしていきます。

東北ダンプ支部としても個別相談には、丁寧に対応し安心して働ける労働環境を目指して取り組んでいきます。また、ダンプの最大の課題である単価問題では東北全体的に、使用促進闘争（公共工事での優先使用を掲げ、自家用ダンプで問題がないことを主張していきます）を展開し単価の改善を目指していこうと思います。

仲間の皆さん、本年も東北ダンプ支部に結集し団結して頑張りましょう。

晴釣雨読（せいちょううどく）

正月は日本文化の特別な節目である。その祝いに欠かせないのが縁起の良い魚である。鯛、鮭、ブリ、エビ、イクラなどがあり、それぞれ特別な意味や由来があります。なぜ魚が縁起物として大切にされているのか、その歴史と文化的背景を探りつつ、正月に食べることを考えて見るのも必要と思う▼「めでたい」という語呂合わせから、祝い事に欠かせない「鯛」、健康を祈り、災いを避ける。という言葉遊びの縁起物の「鮭」、出世魚として知られ、成長と共に名前が変化することから、繁栄や成功を願う「ブリ」、背が曲がるまで長生きを願うことから、長寿の象徴とである「エビ」、子孫繁栄を象徴し、家族が増えることを願う「イクラ」など、正月に食べる魚は、単なる食材としてだけでなく、縁起を担いで健康や幸せを祈る大切な意味があり、これらの魚を使った料理を食べることで、より良い新年を迎えることができるでしょう。正月の食卓に華を添えるために、ぜひこれらの魚を取り入れてみてはいかがでしょう。▼東の横綱は「サケ」で「栄える」が転じておめでたい魚とされています。サケの卵であるイクラは子孫繁栄に通じる縁起物として、また鮮やかな彩りとして、多くのお正月料理に使われています。▼西の横綱「ブリ」は、大きくなるにつれて名前が5回変わることから「出世魚」と言い、体長八〇㎝程度に育つと、やっと「ブリ」と呼ばれるようになる。ブリのように出世や成長にあやかりたい、とお正月や晴れの日に縁起の良い魚とされています。▼おせち料理はお正月の楽しみの一つ、近年は、伝統的な和風のおせちだけでなく、洋風や中華風など多種多様なおせちがあります。年の終わりを迎える年の瀬にどんなおせちを用意すべきか迷うでしょう。▼この1年に感謝を込めて、単なる食材としてだけでなく、縁起を担い健康と幸せを祈る大切な意味があります。おせち料理を堪能し、佳き年を迎えよう。

高橋渓峰

飲み交わす行事は「大事！」

10月の班会議の中で郡山東部班から、年末に郡山南班と合同で交流会を行ってはどうかと提起がありました。郡山南班からも賛成の声があり、12月13日（土）、昨年に引き続き二回目の交流会を開催しました。

福島分会の専従3名も招待を受け全体で19名の参加となりました。福島分会の渕柳書記長から挨拶をいただいたあと、乾杯の発声を郡山南班の橋本直孝班長の音頭で始まりました。年末で忙しい時期でもありましたが参加した仲間からは、年に一度くらいは酒を飲み交わす行事は「大事だ！」多く聞かれました。また対話の中で仲間通しの仕事の繋がりなど、関係性が深まったという話も出されていた。

参加した仲間の多数からは、年末のこの行事は来年も続けてやっていこうという声がありました。班会議や学習会と難しいことだけでなく、お酒を交わす交流会やアトラクションなど企画して、他の班とも交流できるような行事を今後検討していきたいという話も出ていました。

ホオズキと雪

時の的

飯田光徳
社会福祉法人「野の花福祉会」

高市首相は11月7日、衆院予算委員会で「台湾有事の際に自衛隊が動員される可能性がある」という趣旨の発言をし、中国側の激しい非難と報復措置を招いていることはみなさんご存じだろう。

この問題で、習主席はトランプ米大統領に「中国への台湾返還は戦後の国際秩序の重要な要素だ」と述べ、これを受けて、トランプ大統領は高市首相との電話会談で、台湾に関する発言を和らげるよう提案したことがウォール・ストリート・ジャーナル紙で報じられた。

習主席は電話会談で日本を名指ししたり、トランプ大統領に日本に圧力を加えるよう求めたりしたわけではないが、戦後秩序に関するくだりは日本がアジア太平洋戦争の敗戦国であることを暗黙的に強調したといえる。中国外務省がこの間、フランスなどに台湾問題での理解を求めたことも戦勝国を意識した動きである。

中国は戦後80年という年という節目の年に誕生した右翼的な高市政権が、米国に媚びへつらい、追随する中で、大きな勘違いをしていると感じているのであろう。

日本は、日清戦争から敗戦までに、国策を誤り、戦争への道を歩み、植民地支配と侵略によって、多くの国々、とりわけアジア諸国の民衆に対して多大な損害と苦痛を与えた。これを高市首相は理解していない。歴史と向き合う姿勢がない、とのジャッジの結果が中国の態度に表れている。

歴史を粗末にするこんな政権は退場してもらうしかない。市民社会がしっかりと政党と共同し新たな運動のうねりをつくらねばならない。

クマ

2025年の清水寺の漢字一文字は米を押さえて『熊』が選ばれた。まだ、ナマクマは見たことがない。あわずに済むなら、これからもそう願いたい。

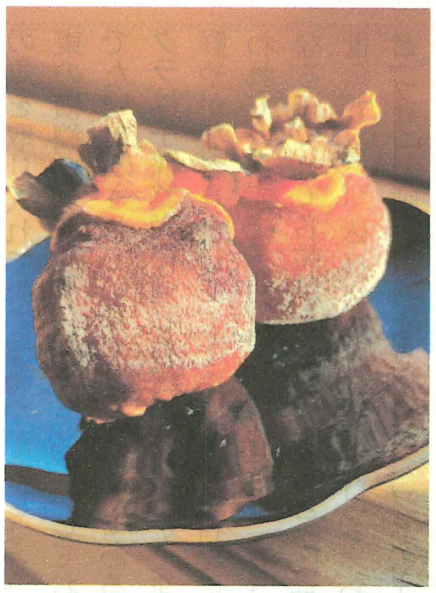
市街地に出没するクマは近隣の山から川や水路伝いにやってくるらしい。河川敷に生い茂る草や木は、姿を隠してくれる。クマは、昔から人々の生活の周辺にいたと思うが、田畑が耕作されずに放置され、空き家が増えた。動物がその匂い嫌う稲わら焼きが禁止され、風力発電の風車が山々に林立し、メガソーラー発電のパネルが野山を覆いつくす。全国的にクマの被害が増えた原因を科学的に分析し、対策を立てることが求められる。

エサのドングリやブナの実の不作が追い打ちをかける。一方で収穫されない山里の柿の実、リンゴ、スーパーに陳列された食料など、アーバンベアにとってはまさにパラダイス（天国）だろう。人々は、コロナが猛威をふるった時のように外出を控え、歳末の商店や飲食街は悲鳴を上げ、閑古鳥が鳴いている。

里や市街地にやってくるクマは、山にあるエサが不作であっても、来年以降は今年よりむしろ増えるかも知れない。長期的な対策が求められる。

クマの行動学の研究、生息数の正確な調査、奥山の自然破壊を止めること、耕作放棄地や空き家対策をすすめることが重要だ。

（喜）


干し柿

いろはかるた 26

世相笑々

い犬も歩けば熊に遭遇
ろ論よりフェイク
は花よりコメ
に憎まれっ子もお縄に
ほ骨折り損の物価高騰
へ下手の首相答弁
と豆腐の大浦湾に杭
ち塵プラ積もり海汚染
り律義者の損もう沢山
ぬ糠上の柏崎刈羽原発
る類で集まるSNS
を老いては孤立無援